



関中央ロータリークラブ

2019-2020 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 吉田和也 副会長 高井良祐 幹事 土屋敏幸 クラブ会報委員長 長谷川修

2019~2020年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「One for all, All for one.

協力しあい成長するロータリー！」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

新型コロナウイルス感染症対応原稿例会 第2006回例会 2020年5月14日(木)

*会長あいさつ 吉田和也会長

日差しに暑さを感じ、日中は外にいと汗ばむような陽気になり、屋外で過ごすのに最適な季節となりましたが、この外出自粛の中、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの感染者も徐々に減りつつあるようで、政府も5月末まで予定していた緊急事態宣言を前倒しで解除する検討に入った模様です。いろいろと問題は多いかと思いますが、これによって経済や生活が一日でも早くもとに戻ることを願いますが、気の緩みによって再び感染が拡大することは何としてでも避けなければならないと思います。

そのために今後いったん終息した感染を再度拡大させないために、「新しい生活様式」というものが、政府の専門家会議によって提言されています。提言では、人との距離はできるだけ2メートルあけ、外出時に会話をする場合は症状がなくてもマスクをし、可能な限り真正面は避ける、などを例示し又、発症した時のために誰とどこで会ったかをメモし、帰宅したら手や顔を洗い、できるだけすぐに着替えてシャワーを

浴びる、毎朝の体温測定や、こまめな換気を心がけ、買い物は通販や電子決済を利用。食事は横並びで座り、大皿は避けて会話は控えめに、働き方ではオンライン会議やオンラインでの名刺交換などを進める、と大まかにはこのような内容ですが、何か暮らしにくい世の中になっていってしまうように思いますが、感染防止のために心がけねばならないと思っております。又経済の面では、特に甚大的な影響を受けてみえる飲食や宿泊業の方々には、この状況をもとに戻すのは非常に大変かと思えますし、工業も様々な部品など今まで工賃の安い海外に依存していたのを見直し、国内でできることは国内で制作するような反グローバルな変革も今後必要になってくるのではないかと思います。各業界で様々な大変な苦勞がこれからあるかと思いますが、何とか皆で力を合わせ、この事態を打開していかなければならないと思います。

本日は、社会奉仕、環境保全委員会の小川委員長に卓話原稿をお願いしたところ、大変快く引き受けて頂き有難うございました。どのようなお話か楽しみにしております。

又、雑誌・広報委員会の尾崎委員長には新型コロナウイルスの治療の病院で最前線で戦っておられ、大変過酷な状況でお疲れのなか「新型コロナウイルス感染症について」という卓話原稿を頂戴いたしまして本当に有難うございます。しっかりと勉強させて頂き今後の生活の指針にさせていただきたいと思います。

それでは一日も早くもとの生活に戻ることを願って本日のご挨拶とさせていただきます。

***社会奉仕委員会 小川 糧司委員長**

クラブの皆さん、例会が感染症の予防対策で休会となって2ヶ月が過ぎ、ロータリーの例会が懐かしくなってきました。

入会から32年になりますが、このような事態は初めてです。例会がないことは気楽のようで、ある面では寂しく感じられます。まだまだ非常事態宣言が継続されていますので例会は開けません。そこで、例会はなくとも、会報は毎週出して、Eネットクラブのように、パソコンで例会をとという提案をしたところ、たまたま卓話を頼まれていた私からやれということでしたので、原稿を出させてもらいます。

次年度の社会奉仕委員会の目玉は、子供食堂へ来る子供たちを8月22～23日に上之保のキャンプ場へ招待して、1泊2日のキャンプ体験をしてもらう計画を立てています。其の前に5月の末には田植えと自然体験を昨年と同様に計画していましたが、この新型コロナウイルス感染症の影響で中止をせざるをえなくなりました。今月内にはコロナの押さえ込みの見通しがたてば、8月のキャンプが可能となると思いますが、あと数ヶ月伸びれば、これも中止の羽目となります。

みんなの3密防止の考えを徹底して推進をし、ロータリー活動を正常に実行したいと思います。自分だけは大丈夫と思わず、実行をお願いします。

先日、朝の目覚めのラジオで、日本人特有の美しい言葉という話で「いそしむ」言う言葉が流れてきました。外国の言葉には一言で表す言

葉はないようです。日本語の言葉の持つ豊かさの一つであろうと思います。漢字では「勤しむ」と書き、語源は「粘土に手を加えて力を使い物を作る」という意味からきたようです。

自分なりに考えると 物事を楽しんで永続的に実行するという意味合いが強いと思います。新型コロナ感染症が治まると社会の価値観が変化をされると言われていますが、ロータリーも絶えず変化をしながら社会奉仕の理念を持って、全会員手をつないでロータリー活動に勤しみたいと思います。

***「新型コロナウイルス感染症について」**

雑誌・広報委員会 尾崎 将之委員長

皆様 新緑の時期となりましたが、なかなか新型コロナの収束がみられておりません。

東海地方では2月より新型コロナ感染症の患者さんが発生しています。わたしは2月の終わりから4月の中旬にかけて勤務先の病院に泊まり込みで重症患者さんの治療に携わっておりました。そのため2月27日の卓話は担当できなくなり皆様には大変ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。今回原稿の形で新型コロナ感染症の特徴と日本の医療体制について触れたいと思います。

○季節性インフルエンザと新型コロナ感染症の違い

合唱やカラオケができるくらい心臓と肺の機能が保たれている位お元気な方やジムでトレーニングしているくらい体力のある方が季節性インフルエンザ感染のため病院の集中治療室での治療が必要になることは殆どありません。しかしこの新型コロナウイルス感染症では著名人の急逝が報じられているように普段お元気な方でも急激な重症化が起こりえます。残念ながらその原因はよくわかっていません。

重症化の原因が不明であるだけでなく、新型コロナに対しては特効薬がありません。医療者ができることは対症療法です。苦しくなれば酸素を与え、それでも足りなければ人工呼吸器やECMO（エクモ）という装置で、血液中の酸素を

増やします。装置は大掛かりですが基本的に対症療法です。酸素を与えてもウィルス自体はダメージをうけません。酸素を与えてヒト側が酸欠にならないように保った状態で、ウィルスの嵐がすぎるのを待ちます。その間、患者さんは麻酔薬で眠った状態が何日も続きます。常に吸痰、清拭、床ずれ防止、点滴、排泄のケアと機器の正常な動作確認・調整で医師も看護師もつきっきりになります。

○重症患者さんへの医療資源

日本は人口に比し集中治療室のベッド数が少ないことが問題とされています。全国で総数6000床くらいです。心筋梗塞、脳出血、白血病、手術後などの方がこれまで通りいらっしゃるのでもここから新型コロナ用に割けるベッドは1000程度と見積もります。岐阜県の人口約200万人として単純計算すると県内には重症患者さん用のベッドが100床となります。そのうち20床程度しか新型コロナ感染症に使用することができないこととなります。

また人工呼吸管理は医療者だれもがすぐ始められるものではありません。感染症の先生も普段人工呼吸器には縁がありません。確実に管理できる人たちは集中治療専門医の方々ですが国内に2000名弱程度の数です。そのうち岐阜県内の集中治療専門医は18名です。20床のベッドと18人の専門医ではちょっとした流行が発生するとすぐにキャパシティを超えることが予想されます。医療崩壊が危惧されると報道されていたのはこのような背景があります。

幸い新規発生数が現在減少傾向にあります。しかし人と人の接触が増えると再び感染者が増える可能性は十分にあると考えられます。個人的には手の衛生状態が特に重要だと感じています。皆様是非手洗いを励行していただければと存じます。

*ニコボックス委員会

高井 良祐君

5月1日に長女42歳に女の子が産まれました。68歳にして外孫ではありますが、初孫です。

3400g 母子共に健康です。名前は私の提案を受け入れてくれ、佳音（かの）と名付けました。

*幹事報告

- ・辻ガバナーからCOVID-19と戦っている医療機関へフェイスシールドを贈呈するため、募金の依頼が届きました。理事・役員の皆様に承認を得ましたので、クラブから5万円寄付します。
- ・理事・役員の皆様から承認を得ましたので、今年度予算にて、清酒「多笑」を60本購入します。購入したお酒は次年度の来賓の方々への贈呈、台北南隆RCへのお土産等に使用します。
- ・6月7日に予定しておりました長良川環境保全例会は中止のため休会とします。
- ・新型コロナウイルス感染対策により中止が決定した地区関連行事
2021-22年度 夏期派遣学生募集
2020-21年度 インターアクト年次大会
2020-21年度 韓国派遣事業
- ・2020年5月のロータリーレートは、1ドル＝107円です。

<次例会の案内>

第2007回 2020年5月21日（木）

新型コロナウイルス感染症対応原稿例会

テーマ 「会長エレクト研修セミナー報告」